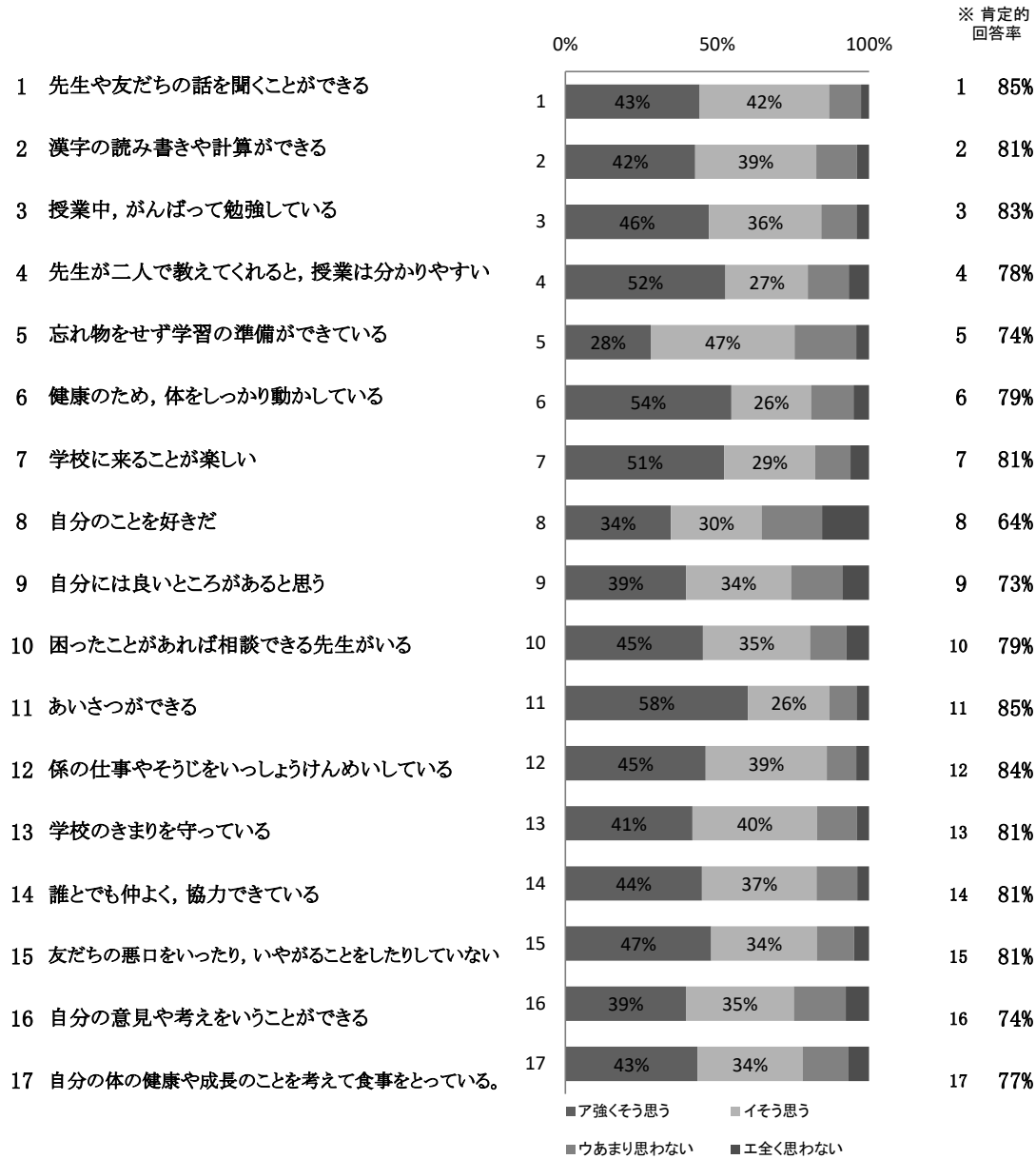


保護者の皆様
(家庭数)

八万小学校長 山崎 眞弘

本校の教育活動をより充実したものにするため、昨年12月、保護者の皆様に学校運営、教育活動、児童の様子等について学校評価をお願いしましたところ快くご協力いただき、心からお礼申しあげます。
学校評価の集計、分析結果は次のようになりました。児童アンケートは17項目中9項目で、保護者アンケートでは11項目中6項目において、評価が80%を超えていました。学校と家庭・地域の連携により、児童が充実した学校生活を送ることができている様子がうかがえます。また、この結果とともに個別にいただいたご意見を生かして、今後も学校運営に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

学校教育に関するアンケート集計結果（児童）



※ 肯定的回答率とは、ア(強くそう思う)とイ(そう思う)の合計です。

今年度のアンケート結果では、全体的に数値の減少が見られたものの、肯定的な回答率かまたはそれに近い結果を得ることができました。
「1 話を聞くことができる」、「11 あいさつができる」は、学校の重点目標として継続的に取り組んでいます。肯定的な結果となっていますが、重点目標であることから考えると100%をめざす取り組みを思索し、実現できる実践を推進していきたいと考えます。学習に関する項目である「2・3・4」は、昨年度よりやや減少し、学習意欲の低下が見られます。学習意欲を育む上で、「自分のよいところを見てくれる」「“あたたかい目で見守ってくれている”」「自分に期待をかけてくれている」と思えることが土台となる安心感につながります。この点に留意し、学校でのよりよい人間関係の構築に努めます。「7 学校に来ることが楽しい」については、昨年度より減少しています。学習面や生活面での規制が多く、充実感を味わえない場面が増えていることもひとつの要因として挙げられます。学習や生活の中で、成功体験を積み重ね、他者と比べるのではなく、自分なりの達成感や充実感が味わえるようご家庭でもご協力をお願いします。「8 自分のことが好き」と答える児童の割合は64%、「9 自分には良いところがあると思う」は73%で、自己肯定感の低下が懸念されます。今後も、人権教育の推進により、「自分のよさ」を見つめる態度が身につくよう指導に尽力していきたいと思います。「8」「9」に関連して、「16 自分の意見や考えを言うことができる」が74%で、昨年度と同じです。自分の存在価値を認めながらも、周囲の反応を気にして自分に自信が持てない部分もあり、控えめな評価をしている結果が見られます。教師と児童、児童相互の人間関係を円滑にし、互いに大切な存在として承認しあえる取組を続けていきたいと考えています。
学校全体としては、児童は落ち着いて生活し、学習活動にも取り組んでいます。よりよい八万小学校にしていくためには、児童一人一人が認められ尊重し合える学級・学年集団づくりに努めながら、積極性を培い、リーダーシップを発揮する児童の育成をめざして教育活動に取り組んでまいります。